



TITLE:

英國と勞農露西亞

AUTHOR(S):

小川, 福太郎

CITATION:

小川, 福太郎. 英國と勞農露西亞. 經濟論叢 1922, 15(1): 142-148

ISSUE DATE:

1922-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127917>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號一第

卷五十第

行發日一月七年一十正大

論叢

支那の古典に見はれたる社會政策

法學博士 田島 錦治

租稅負擔の一般と租稅の民衆化

法學博士 神戸 正雄

基督教文明の發展概論

法學博士 財部 靜治

社會哲學に於ける主意的二元論的思想

法學士 恒藤 恭

經濟道と經濟術

法學士 作田 莊一

時論

政費節減論

法學博士 小川 郷太郎

說苑

功利主義と生産政策

經濟學士 堀 經夫

雜錄

勞農露西亞の社會保險

經濟學士 岡崎 文規

英國と勞農露西亞

經濟學士 小川 福太郎

經濟學會公開講演會記事

英國と勞農露西亞

小川 福太郎

本籍は Edward Hill の *La politique anglaise pour la reconstitution de la Russie* なる論文*中の要所の紹介である。

一

休戰條約締結後英國は他の聯合諸國と同じく戰勝に陶醉して經濟的發達を信じて居つた。巴里條約及び露西亞の封鎖は戰勝者が他國の政府、人民に對してのみならず經濟學の法則に迄も其命令を強制することを得ると云ふ信念から起つた戰爭心理の發現であつた。

* *Ruvue Économique internationale* 25 Mars 1922.

乍然狂熱的狀態は過ぎて反動が生じて來た。

固より其反動の現はれ方は聯合諸國の間に於て種々異つて居る。例へば佛蘭西は政治的危難を恐れてゐるが、英國は寧ろ經濟的危難を恐れてゐる。佛蘭西は其人口が停滯的であるので、經濟的見地から其需要を充すに足りないといふことを虞れるよりも寧ろ政治的見地から昔からの敵國の復興を恐れてゐるが、英國は之と異なり人口増加し、外國貿易を發展せしめなければ其生存を確保することが出來ぬので、中歐の破産、露西亞の經濟的瓦壞を恐れてゐる。英國には約二百萬の失業者があつたが佛國は三萬五千に過ぎぬ、佛國の危難は遠いが英國のは直接で恐しきものがある。英國の政策が歐洲の經濟的回復を誘致する事を目的として行はなければならぬといふのは道理ある事である。ロイド・ジョージの注意を惹くものは英國貿易の緊急問題であつて、彼は政治上及び外交上の意見を顧みる事が出來ない、之れ彼が聯合國を説いてゼノア會議にレニンを招くに至つた理由をなすもので

ある。

二

戰前英國は其製造品の輸出並に海外投資により四千萬人民の生活を保持して居つたのであるが、今日では輸出額は戰前の半分となり海外投資による利益も戰爭中證券を賣却した爲非常に減少するに至つた。其結果若し貿易が急速に回復せないならば英國は其生活狀態を引下げるか或は人口の増加を抑制するの途に出でなければならぬ。

然らばかくも英國の對外貿易に故障を來した所の世界的恐慌の原因如何といへば、其主なるものは貨幣價值の不安定と世界の購買力の減少とである、而も之等の事實其者の由來する所は實に露西亞の瓦解と中歐經濟組織の破壞とにある。印度、濠洲、南亞、北米に起つた所の不景氣は之等の諸國をして英國の生産物を平常の量で購求する事を妨げたが、それといふのも之等の諸國が其餘分の生産物を露國及び中歐に輸出するを得なかつたからである。

南亞がランカシャーの綿を買ふ事を得ないのは、波蘭及獨逸に其羊毛を賣る事が出来なかつた爲で、其羊毛は之等の國が露西亞に輸出する衣服の製作に用ゐるのである。露西亞が織物を買ふ事の出来ないのは、以前英國及び合衆國が供給して居つた農用機械が不足し、其爲に決濟に當つべき餘分の穀類を生産する事を得ないからである。而して英國及び合衆國の農用機械製造の職工は失業の状態にある。かゝる不振の循環を數へ擧げれば無限にある。

世界に於ける原料品及び食料品の生産が非常に減少したのは露西亞及び中歐が世界市場に姿を見せぬ爲、全世界の需要充足に必要な量の生産が阻害されたに因る。實に此世界的恐慌の最大原因は露西亞の經濟的瓦解であつて、其他の原因即ち財政の紊亂、爲替の不安定、政治的不安等が満足なる方法で解決され得ることも、一億二千萬の人口を有する露西亞が正常なる取引に参加し得ない以上は、歐洲は依然として元の狀態に復し得ないであらう。

波蘭の戰前の輸出額五千八百萬磅の中五千三百萬磅は露西亞に輸出されて居つたのであつて、輸出信用の授與及びタミーニール證券の如き波蘭の經濟的回復を目的とする諸方策も、其唯一の顧客たる露西亞の門戸が閉鎖されて居る以上、狀態の變

化を齎らさないであらう。

更に眼を轉じて歐洲と其外界との關係を見る時は、歐洲の經濟狀態に憂ふべき結果を來す所の急激なる變化の起りつゝある事が認められる。即ち一方に於ては英國の諸植民地及び亞米利加が益々獨立的となり工業化せんとして居る。

濠洲は其產出する羊毛を紡織し、必要とする織物を製作し、南亞は盛んに靴類及び家具を製造しつゝある。ダンアイの麻製造業はカルカッタの麻工場に其地位を奪はれんとして居る。

斯くて原料生産諸國は次第に變化して自給自足を行ひ更に完成品を輸出するに至らんとして居る。若し此傾向が一般的になれば、其生存上原料品を輸入し完成品を輸出せねばならぬ所の英國の如き工業國は、世界貿易上に最早何等果すべき役務を持たぬが如き結果となるであらう。

此の如く工業製品の需要の減少せると共に、他方に於ては歐洲の食料生産物の過剩は次第に減少せんとして居る。此現象は特に北米合衆國に於て認めらるゝ所であつて、同國は丁抹及び新西蘭の搾乳場の生産物を輸入せんとしてゐ

る。一部の經濟學者は米大陸の農産に關しては收穫遞減の法則が既に其作用を現はしてゐると述べてゐる。

之等の外界との關係の變化に對して歐洲は其必要とする食料生産物を獲得し其製造品を賣捌く爲に如何にすべきか、之が爲には露西亞并にシベリアの未開地及び無限の自然的富源を利用すべきである。若し露西亞にして鞏固なる政府を有するならば其經濟的發展は茲二三十年の間に十九世紀に於ける米大陸の經濟的發展を凌駕し得るであらう。實に露西亞の再開は歐洲に對し、舊世界と新世界との均衡を回復し戰爭による損害を償ふに足る最も確實なる手段を與ふるに至るであらう。

三

ところが何れの國に於ても露西亞と通商關係を回復する事は何等實際的效果を齎らさないと信する懷疑論者がある。彼等の言ふ所によれば露西亞は野蠻狀態に立歸り其文明は破壊されてゐる、商工業階級は跡を絶ち、戦前人口の極少部

分を形成して居た勞働者は革命の爲に墮落して勞働の習慣を失ひ、又大工業破滅の結果彼等は不安なる生活を與へる土地に歸り都市を荒廢せしめた、かくて露西亞は第二の支那となるであらう。戦前は若干の大地主の企業心によつて穀類の過剰を輸出し得たが、今や農家は土地を奪はれ、遂には久しからずして輸出すべき穀類も最早なくなるであらう。否過剰を處分し得る所が既に其需要に應ずる丈の産額もなく恐しき饑饉に襲はれてゐる。かくる狀態はボルセビズムの存する限り變化し得ないであらう。どうしてもボルセビズムを自滅するに任さねばならぬ。而して西歐諸國が露西亞と重要な通商取引を行ひ得る爲には十年か二十年の後を待たねばならぬと。

しかし此の如く議論は最も嚴密なる吟味を要する。露西亞が如何なる範圍に於ても世界貿易に寄與する事が出来ぬといふ事は果して本當であるか、其經濟的復興は果して實現すべからざるものであるか、狀勢は良好に向ふに先ち惡化

せねばならぬであらうか。

吾々の見る所によれば露西亞は既に峠を越して居る。饑饉にも拘らず其經濟狀態は一年前程惡くはなく、而も近頃行はれたる政策の變化によつて今後其生産高は確かに増加するに至るであらう。

ドネツ炭坑地域の石炭産出額は千九百廿年の四百五十万噸に對し千九百廿一年には五百四十二万噸に増して居る。同年の中頃の食糧恐慌の結果其産出額は七月には十六万噸に過ぎなかつたが、七月以後増加して十月には五十万噸、十一月には七十万噸に達した。一年の産出額の四割は十月から十二月に至る三ヶ月間に掘出されるのである。金屬及び纖維の生産も少しく増加し、亚麻の如きは戦前の産額の五割五分に達してゐる。交通機關も著しく改良され水運は容易となり、新しき機關車は瑞典及び獨逸より輸入せられつゝある。

千九百廿一年の輸入額は前三ヶ年間の輸入額の三倍となり、輸出額も同じく其四倍に達してゐる。昨年十二月のソビエツト會議に於けるレニンの演説によれば千九百廿一年の輸入は八十三万三千噸で輸出は十九万二千噸であつた。此數字は非常に小さく戦前の水平以下にあるが、しかも狀態は徐々に改善せられ若し勞農政府が西歐列國により承認され、満足すべき保證によつて海外よりの放資が確保されるに至つたならば、輸出入は今後急速に増加するであらう。

特に期待すべきは露西亞が農業を回復し其生産力を増すに至る事である。

戦前露西亞の農業生産力は他の歐洲諸國に比し劣つて居た。農夫は肥料を使用せず輪作する事を知らず、多くの地方に於て荒蕪地が半ばもある事は珍らしくなかつた、従て普魯西の砂地が露西亞の豐饒な黒土よりも二三倍多く生産するといふ事も敢て驚くべき事ではなかつた。

尤も露西亞の回復の可能性が非常に大であるといふ事は承認されるとしても、其農民の心理狀態とソビエツト制度の存在とを考へ合す時は、如何にして實際の改良が實現され得るか問題となつて來る。

思ふに露西亞の農民の性質が非常に保守的であるといふ事は、同國の農業の發達に對し大なる妨げとなるものである。けれども最近に行はれた戦争と革命とは彼等を非常に刺激したのである。幾百萬の農民は其原始的生活より引出されて、始めはツアーの軍隊に次では革命軍に勤務せねばならなかつた。五年の戦争の間に彼等は新方法、新思想を知り新しき欲望を起すに至

つたのである。殊に獨逸に捕虜となつた者等は同國の耕作の完全せる事を知り、又西歐の文物思想に親しむ事となつた、かくて彼等は未だ見ざりし農具に觸れ機械の使用や機械力、電氣力の事を教へらるゝに至つた。かくて農民中の青年達は村落に於ける原始的生活に不満を起すに至り、其心持は非常に轉倒を來し、西方文明の種子は豐饒なる土地に植付けらるゝ事となつた。

次に之と並んで、共產主義の革命軍に勤務した所の農民は何れも讀書を教へられ若干の技術上の智識を獲得し青年中文學を知らない者の割合は極めて少くなつた。實に最近三年の間に共產主義の革命軍は青年の學校となつたのであつた。

尙著しき結果を齎した所の第三の事實はブランデーの禁止である。既に革命以前に於て此禁止の爲に農民の習慣と様子とが如何に變化したか注目されたのであるが、彼等は餘分の金がある時は之を善き衣服、道具、家具等の購入に

充てる事になり新しき欲望を持つ様になつた。之等三個の事實は何れも同じ結論に到達する、即ち多數の露西亞人民の農用機械及び製造品に對する需要が今や戰前に比して非常に増大した事である。若し之等の新しき欲望を満足させる事が出來たならば生産力は必ず刺戟せられるに相違ない。實に露西亞及び中歐の復興は之より生すべきものである。

四

西歐の資本主義は此刺戟を提供し友誼的協力ある計畫を立てねばならぬ。露西亞の回復は小商人や投機者流に任ず事は全然出來ない。此問題を解決する任に當る機關が信用あるものである程、眞の根本的改良を實現する機會は大であらう。而して之が爲には先第一に露西亞の鐵道の復興に掛らなければならぬ、即ち現在露西亞では機械の欠乏及び燃料の不充分の爲に困つてゐるから之等の燃料、機械、車輛を多量に供給する必要がある。

最も實際的な解決方法は西方の資本主義を

代表せるインタナショナル、コーポレーション又は他の機關が各々露西亞の諸地方を處理し、經濟生活が依立する上に於て要素となるべき各種の設備を再興するに努め、かくて到る所に平行的の進捗を實現するにある。即ち運輸制度、卸賣狀態、鐵道の終端、大河港、工場等の改良、勞働者に對する衣食の充分なる供給、燃料生産の促進、原料品の貯藏、農民に對し必須の機械、種子、製造品を供給する組合の設置等をなさねばならぬ。若し勞農政府にして諸國に訴へ其莫大なる自然の富源を開發する爲、其經濟的援助を乞ひ、而して過去及び將來の契約の履行を保證する事に同意するならば、英國は第一に其依頼に應ずるであらう。